
相模原市 在宅療養連携ケースモデル事業
支え手帳利用に関するアンケート調査

- 報告書 -

令和2年2月

相模原市

～ 目 次 ～

調査結果	1
【 】支え手帳利用者アンケート	1
1 基本属性	1
(1) 性別	1
(2) 年齢	2
(3) 介護認定の状況	3
(4) アンケート記入者	3
2 支え手帳の保管・利用	4
(1) 有用性	4
(2) 本人・家族が手にとる頻度	5
(3) 活用の場	6
(4) 保管場所	6
(5) マグネットの活用	7
(6) 使用したページ	7
(7) 大きさ	8
(8) ケースについて	8
(9) ケースに収めたもの	9
(10) バインダーに綴じたもの	9
(11) 持ち運び	10
3 医療機関・施設の対応	11
(1) 医療機関・施設側が役立てていたか	11
(2) サービス向上の実感	12
(3) 支え手帳にかかる料金	13
4 未利用の理由	14
(1) 未利用の理由	14
5 救急搬送の有無	15
(1) 救急搬送の有無	15
6 自由回答	16
(1) 支え手帳に関する意見や要望	16
【 】支え手帳関係機関アンケート	17
1 基本属性	17
(1) 事業サービスの種別	17
2 支え手帳の活用	18
(1) 支え手帳の活用頻度	18

(2) 利用した場面-----	19
(3) 利用した箇所-----	19
(4) 利用したページ-----	20
(5) 大きさ-----	20
(6) ケース内の有用な情報-----	21
(7) 2穴バインダー内の有用な情報-----	21
(8) マグネットの活用-----	22
(9) 支え手帳の情報を伝えた先の反応-----	23
(10) 利用の呼びかけ-----	24
(11) 連携の助けになったか-----	24
3 未利用の理由-----	25
(1) 未利用の理由-----	25
4 手帳が有用となる対象-----	26
(1) 手帳が有用となる対象-----	26
5 自由回答-----	27
(1) 手帳に必要な情報やツールについて-----	27
(2) 手帳についての意見・感想等について-----	28
【 支え手帳利用拒否者調査 -----	29
1 基本属性-----	29
(1) 介護認定の状況-----	29
(2) 年齢-----	30
(3) 性別-----	30
(4) 家族構成-----	31
2 配付に至らなかった理由-----	32
(1) 未配付の理由-----	32

【報告書の見方について】

- (1) 集計は小数点以下第 2 位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。
- (2) 2 つ以上の回答を可能とした設問（複数回答）の場合、その回答比率の合計は 100%を超える場合がある。
- (3) 図表中に示す n は、比率算出上の基数（標本数）である。
- (4) この他、個別に参照事項がある場合は、本報告書の該当箇所に適宜記載した。

調査結果

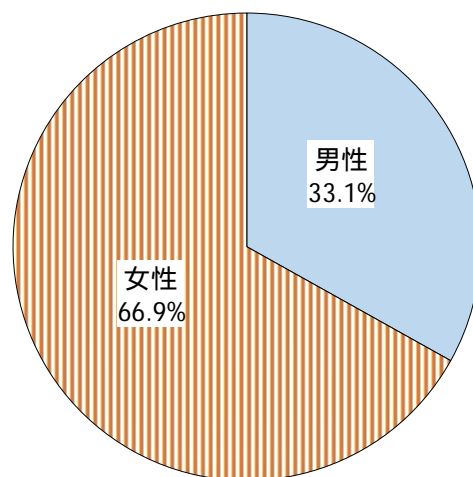
支え手帳利用者アンケート

1 基本属性

(1) 性別

F1 あなたの性別を次の中からお選びください。(は1つだけ)

回答者の性別は、「男性」が 33.1%、「女性」が 66.9%となっています。

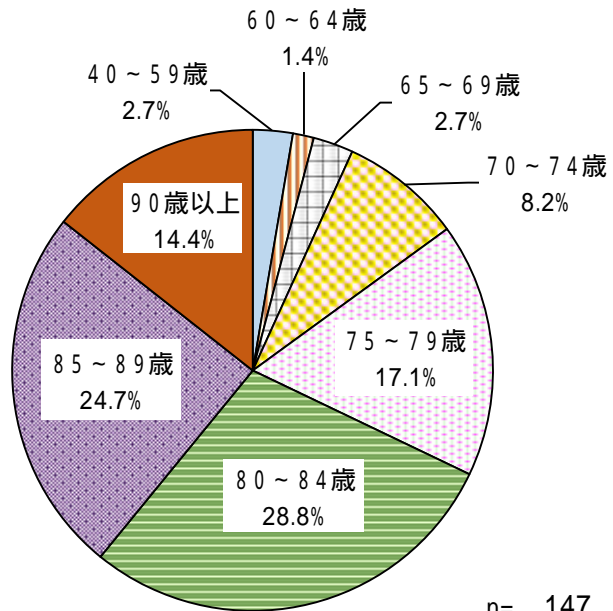


n= 147
(無回答 = 2)

(2) 年齢

F2 あなたの年齢を次の中からお選びください。(は1つだけ)

回答者の年齢は、「80～84歳」が28.8%と最も多く、次いで「85～89歳」(24.7%)、「75～79歳」(17.1%)と続いています。

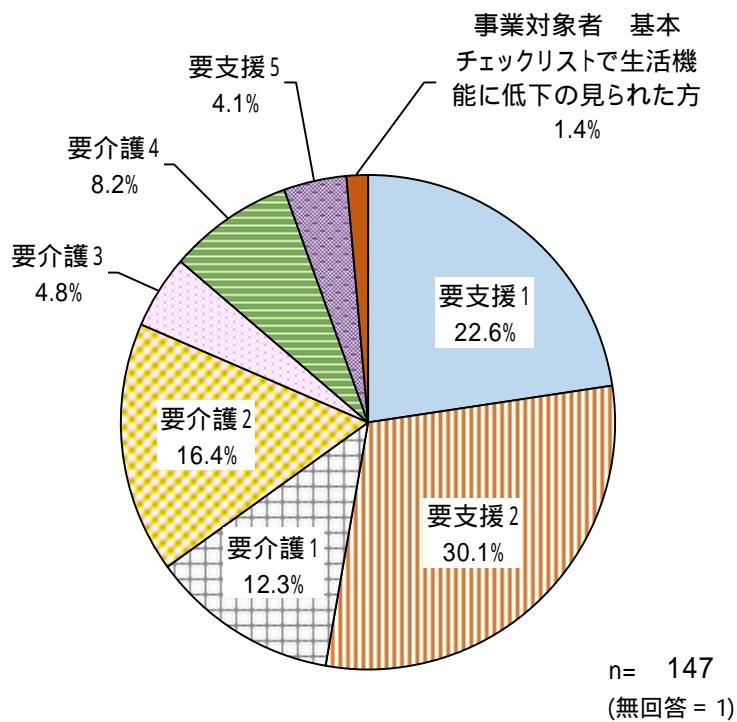


n= 147
(無回答 = 1)

(3) 介護認定の状況

F3 現在の介護認定等の状況を教えてください。(は1つだけ)

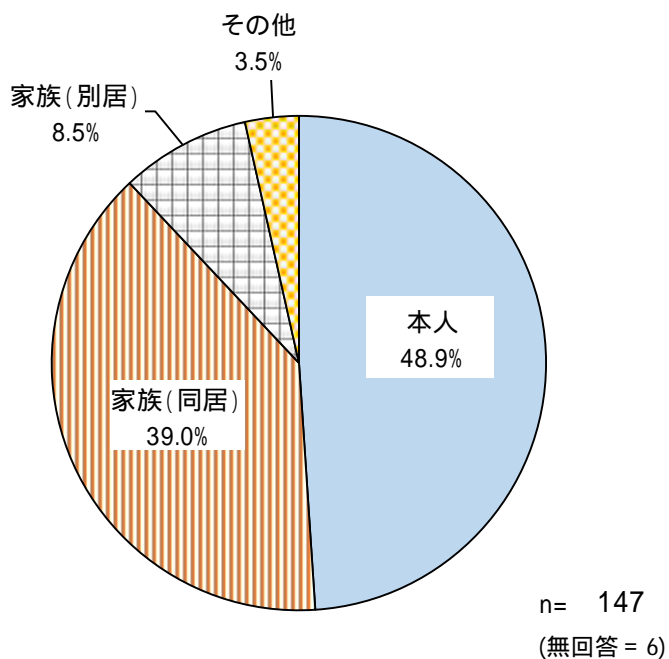
現在の介護認定の状況については、「要支援2」が30.1%と最も多く、次いで「要支援1」(22.6%)、「要介護2」(16.4%)と続いています。



(4) アンケート記入者

F4 アンケートを記入する方を次の中からお選びください。(は1つだけ)

アンケートを記入する方については、「本人」が48.9%と最も多く、「家族(同居)」(39.0%)、「家族(別居)」(8.5%)の順に続いています。



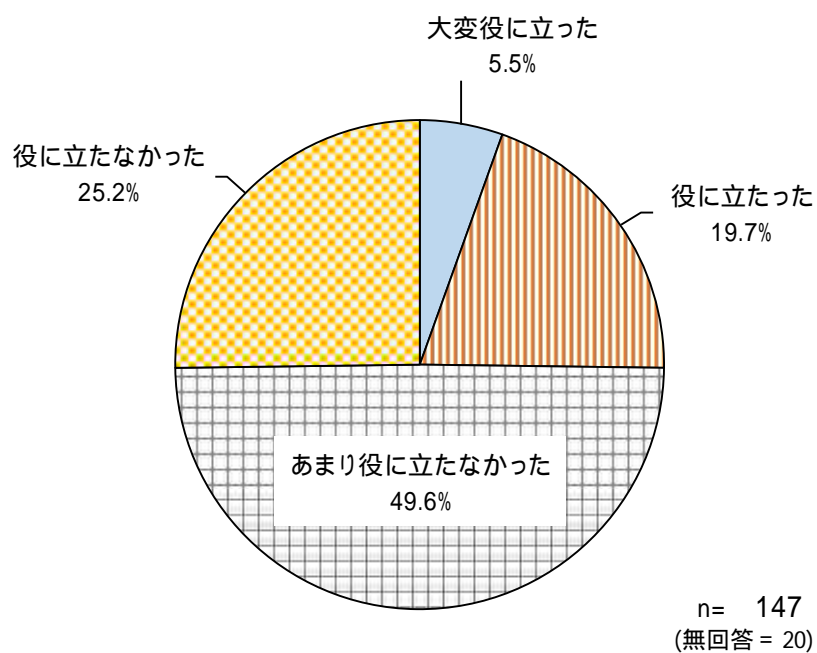
2 支え手帳の保管・利用

(1) 有用性

問1 支え手帳は役に立ちましたか。(は1つだけ)

支え手帳が役立ったかについては、「あまり役に立たなかった」が49.6%と最も多く、次いで「役に立たなかった」が25.2%、「役に立った」が19.7%と続いています。

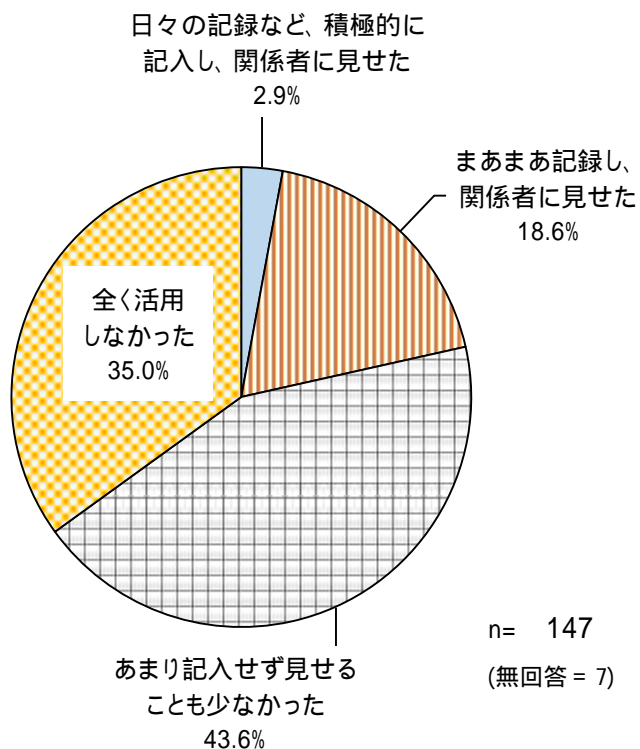
「大変役に立った」と「役に立った」を合計した“役に立った”は25.2%、「役に立たなかった」と「あまり役に立たなかった」を合計した“役に立たなかった”は74.8%となっています。



(2) 本人・家族が手にとる頻度

問2 支え手帳をご本人とご家族が手にとって見たり、持参した利用頻度を教えてください。(は1つだけ)

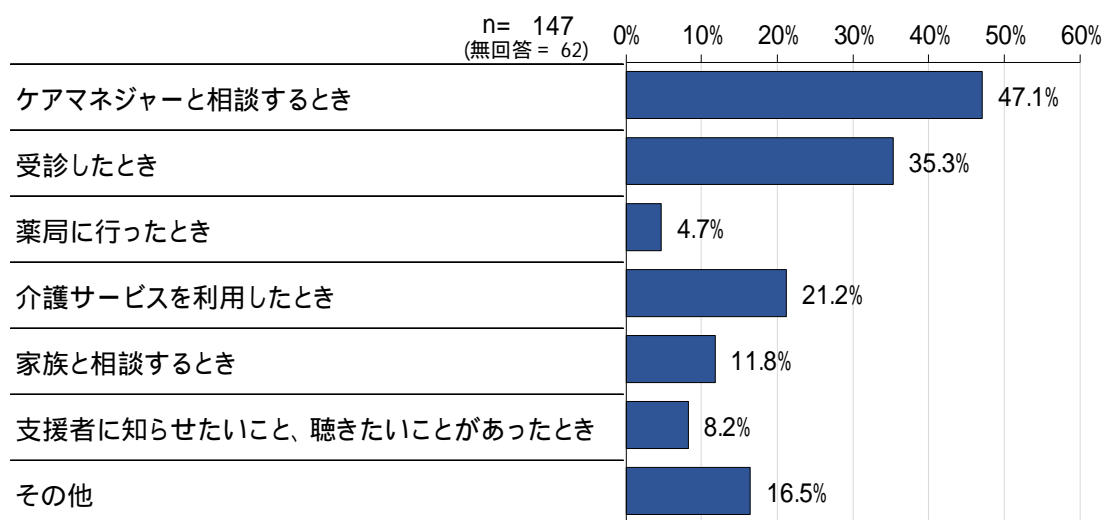
支え手帳を使用した頻度については、「あまり記入せず見せることも少なかった」(43.6%) が最も多く、続いて「全く活用しなかった」(35.0%)、「まあまあ記録し、関係者に見せた」(18.6%)の順となっています。



(3) 活用の場

問3 支え手帳を手にとって見たり、記入、持参するなど、どのようなときに活用しましたか。(はいくつでも)

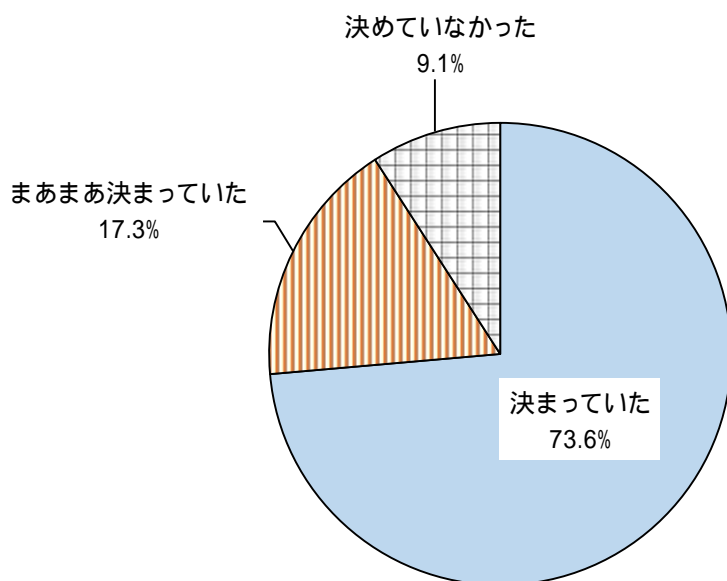
支え手帳の活用の場については、「ケアマネジャーと相談するとき」が47.1%と最も多く、次いで「受診したとき」が35.3%、「介護サービスを利用したとき」が21.2%と続いています。



(4) 保管場所

問4 保管場所は決めていましたか。また、どこに保管しましたか。(は1つだけ)

保管場所については、「決めていた」が73.6%と最も多く、続いて「まあまあ決まっていた」(17.3%)、「決めていなかった」(9.1%)の順となっています。

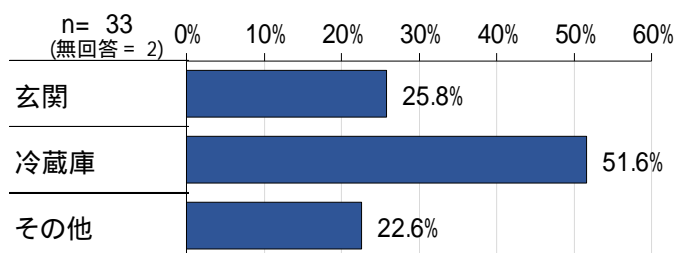
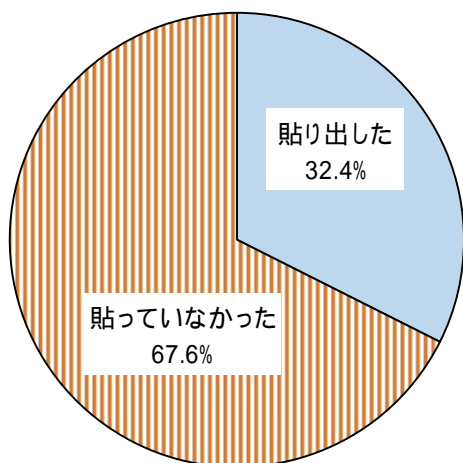


n = 147
(無回答 = 37)

(5) マグネットの活用

問5 保管場所を記入するマグネットは貼り出していましたか。どこに掲示しましたか。(は1つだけ)

保管場所記入のマグネットについては、「貼り出した」が32.4%、「貼っていなかった」が67.6%となっており、貼り出した場所については、「冷蔵庫」が最も多く51.6%となっており、続いて「玄関」が25.8%、「その他」が22.6%となっています。



n= 147
(無回答 = 45)

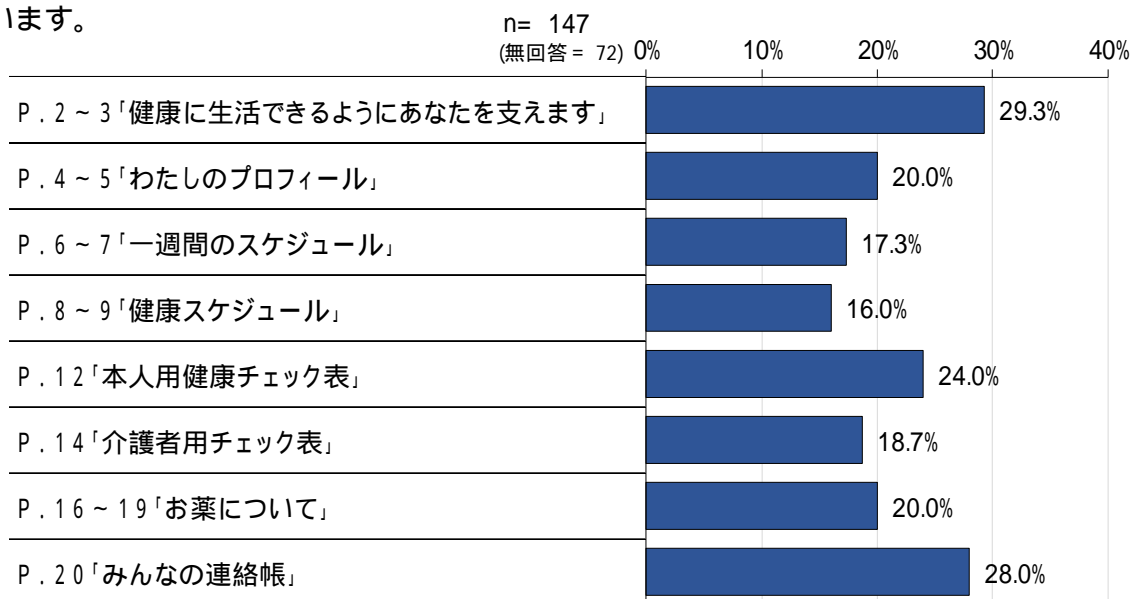
【マグネットの貼り出し有無】

【貼り出した場所】

(6) 使用したページ

問6 支え手帳でよく使用したページはどこですか。(はいくつでも)

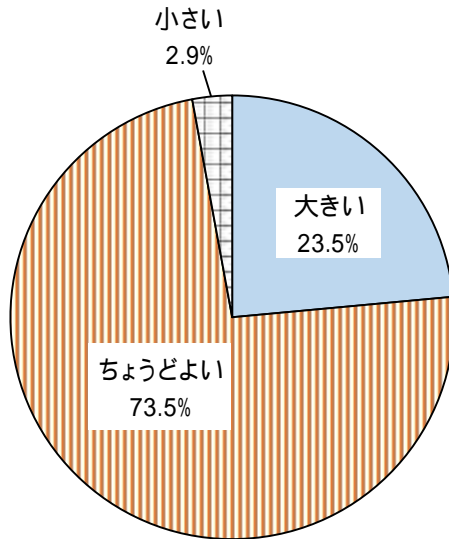
よく使用したページについては、「健康に生活できるようにあなたを支えます」が29.3%と最も多く、次いで「みんなの連絡帳」が28.0%、「本人用健康チェック表」が24.0%と続いています。



(7) 大きさ

問7 支え手帳の大きさはどうですか。(は1つだけ)

支え手帳の大きさについては、「ちょうどよい」が73.5%、「大きい」が23.5%となっています。「小さい」については2.9%に留まっています。

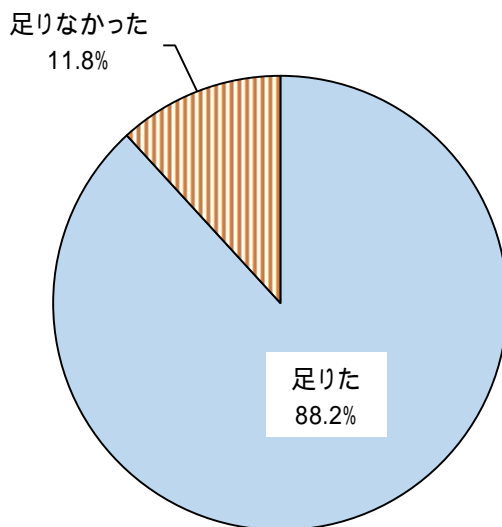


n= 147
(無回答 = 45)

(8) ケースについて

問8 ファスナーケースはひとつで足りましたか。(は1つだけ)

ファスナーケースについては、ひとつで「足りた」が88.2%、「足りなかった」が11.8%となっています。

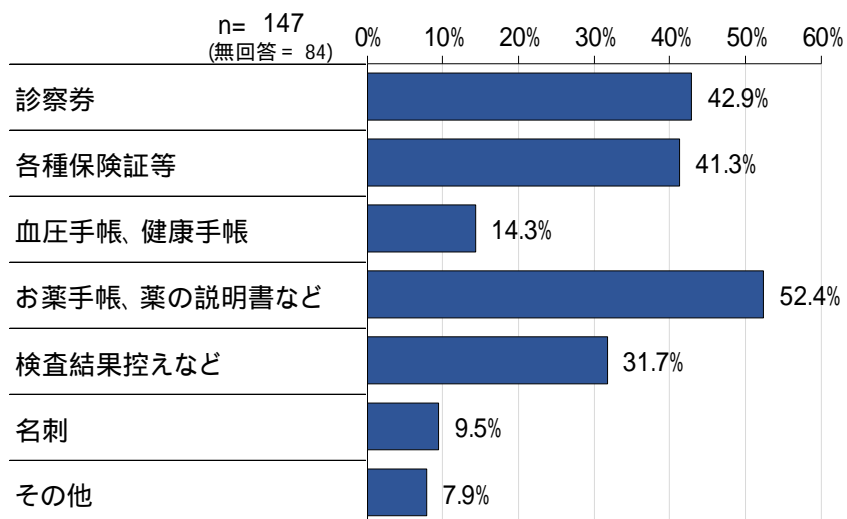


n= 147
(無回答 = 62)

(9) ケースに収めたもの

問9 ファスナーケースに収納したものは何ですか。(はいいくつでも)

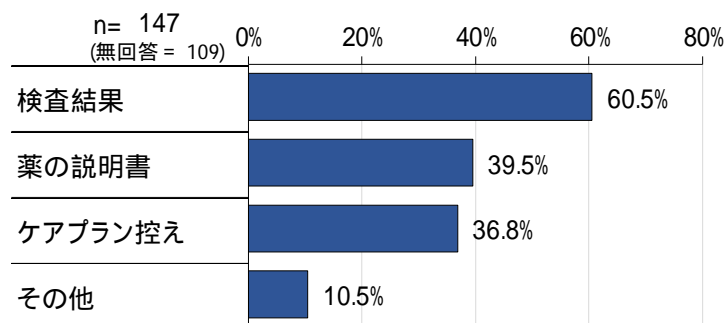
ファスナーケースに収納したものについては、「お薬手帳、薬の説明書など」が52.4%と最も多く、次いで「診察券」が42.9%、「各種保険証等」が41.3%と続いています。



(10) バインダーに綴じたもの

問10 2穴バインダーに、追加で綴じたものはありますか。(はいいくつでも)

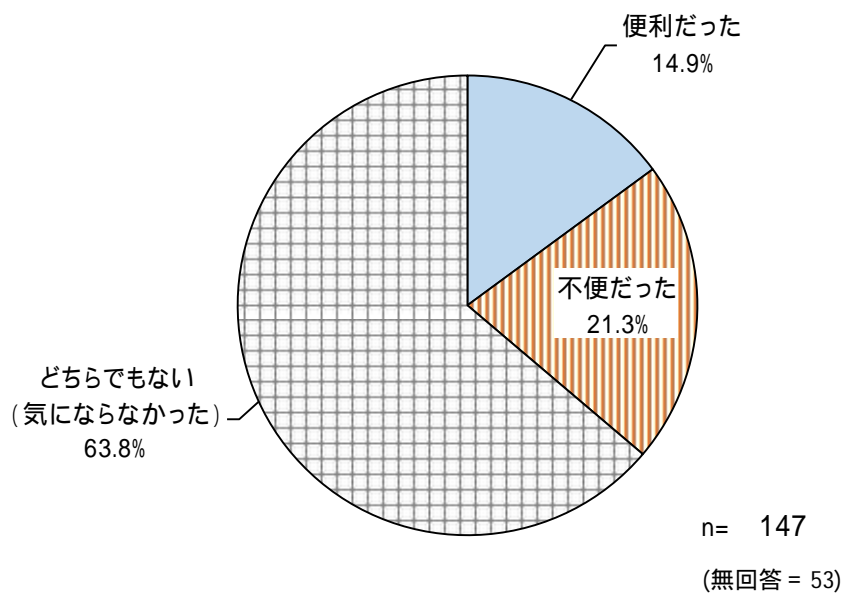
2穴バインダーに追加で綴じたものについて、「検査結果」が60.5%と最も多く、続いて「薬の説明書」が39.5%、「ケアプラン控え」が36.8%と続いています。



(11) 持ち運び

問 11 支え手帳のついたバインダー形式は持ち運びには便利でしたか。(は1つだけ)

支え手帳の持ち運びについて、「どちらでもない(気にならなかった)」が63.8%と最も多く、次いで「不便だった」が21.3%、「便利だった」が14.9%となっています。



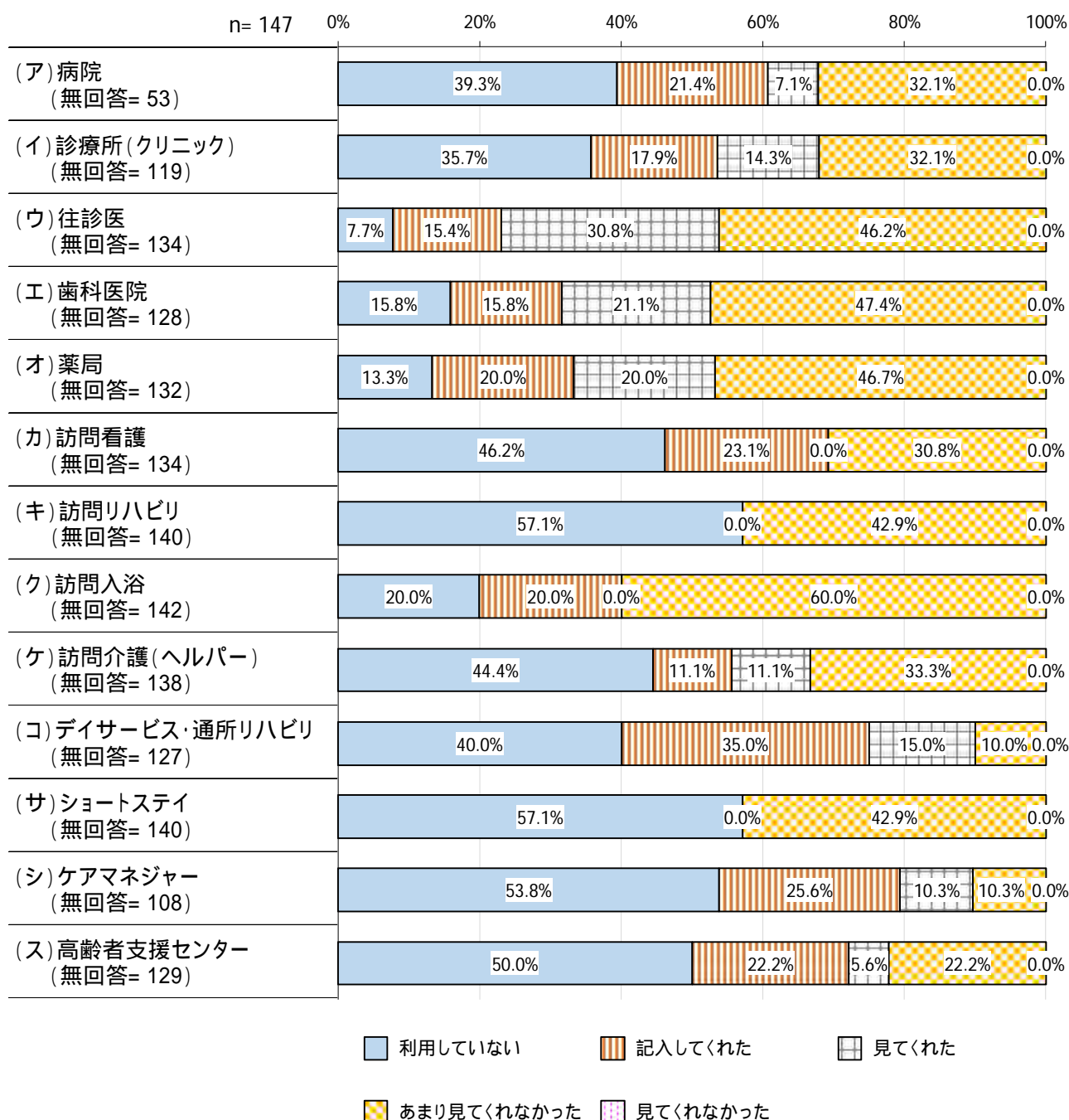
3 医療機関・施設の対応

(1) 医療機関・施設側が役立てていたか

問 12 医療機関等と介護サービス事業者のうち、支え手帳を見たり、記入してくれるなど役立てていたかどうか教えてください。(はそれぞれ1つだけ)

医療機関等や介護サービス事業者が手帳を役立てていたかについては、「記入してくれた」と「見てくれた」の合計が最も多いのは「デイサービス・通所リハビリ」で50.0%となっており、次いで「往診医」が46.2%、「薬局」が40.0%と続いています。

「利用していない」が最も多いのは「訪問リハビリ」、「ショートステイ」で共に57.1%、「あまり見てくれなかった」が最も多いのは「訪問入浴」の60.0%となっています。



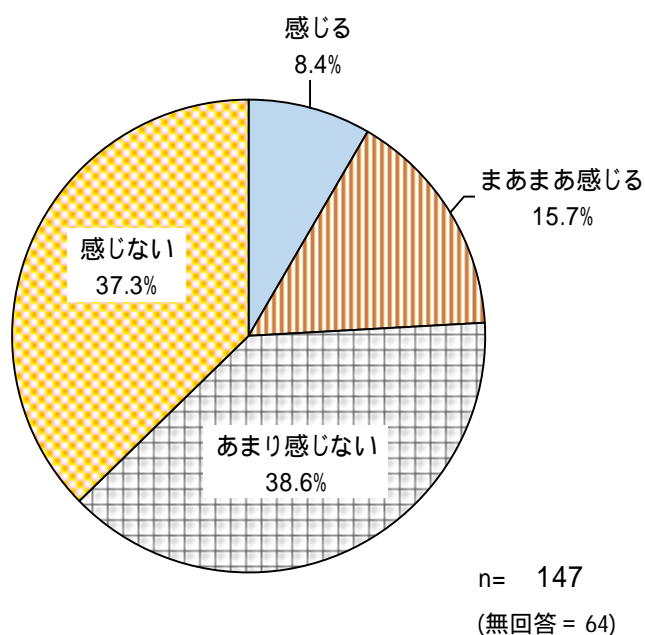
(2) サービス向上の実感

問 13 支え手帳を医療と介護の職員に見せたことで、ご自分とご家族へのサービスが向上したと感じましたか。(は1つだけ)

手帳を利用することでのサービス向上の実感としては、「あまり感じない」が38.6%と最も多く、次いで「感じない」が37.3%、「まあまあ感じる」が15.7%と続いています。

「感じない」、「あまり感じない」を合わせると、サービス向上を感じていない層は75.9%となっています。

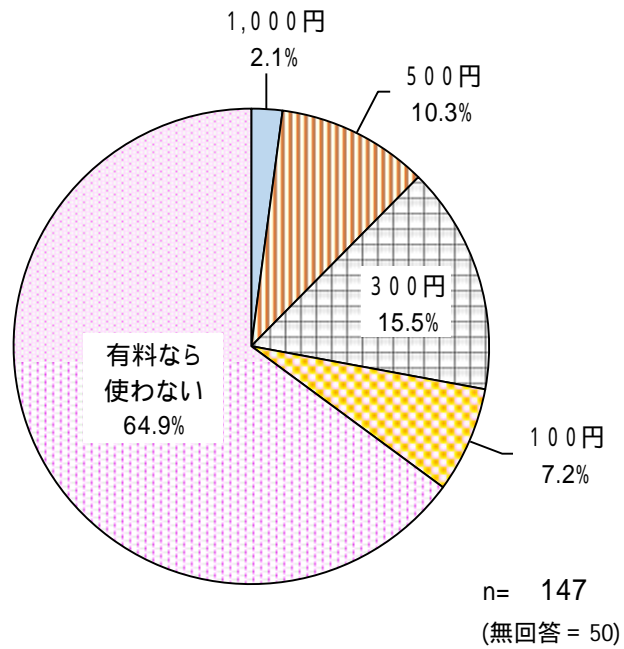
一方で、「感じる」、「まあまあ感じる」を合わせた24.1%がサービス向上を実感しています。



(3) 支え手帳にかかる料金

問 14 支え手帳が有料でも使いますか。有料の場合、妥当だと感じる金額は。
(は1つだけ)

支え手帳の料金について、「有料なら使わない」が64.9%と最も多い結果となっています。
有料でも使いたいと思うと答えた方では、「300円」(15.5%)、「500円」(10.3%)、「100円」(7.2%)の順となっています。

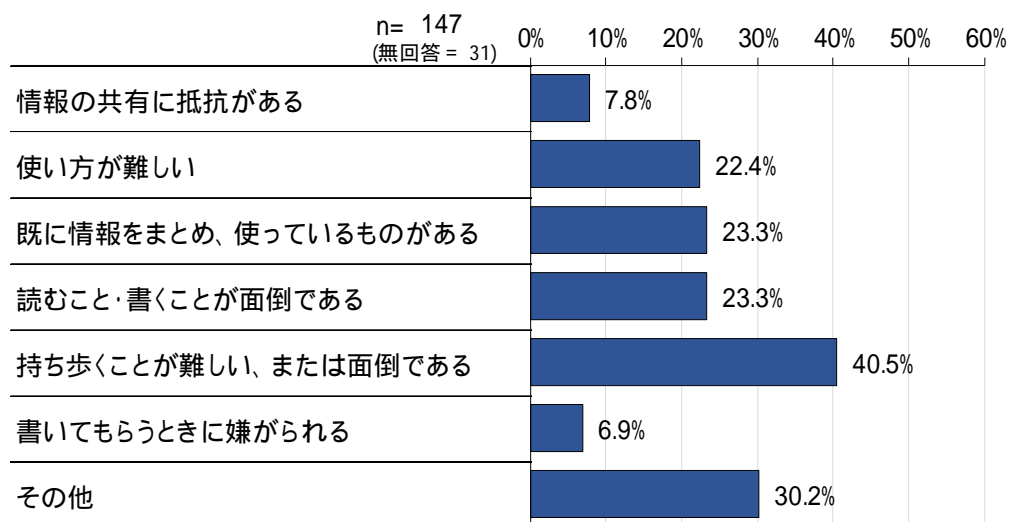


4 未利用の理由

(1) 未利用の理由

問 15 支え手帳を利用しなかった場合の理由を教えてください。(はいくつでも)

支え手帳を利用しなかった理由としては、「持ち歩くことが難しい」が40.5%と最も多く、続いて「その他」が30.2%、「既に情報をまとめ、使っているものがある」、「読むこと・書くことが面倒である」が各23.3%と続いています。



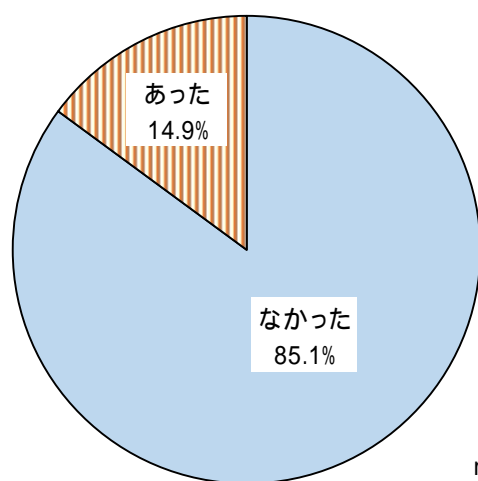
5 救急搬送の有無

(1) 救急搬送の有無

問 16 利用期間中に、救急車を呼んだことはありましたか。(は1つだけ)

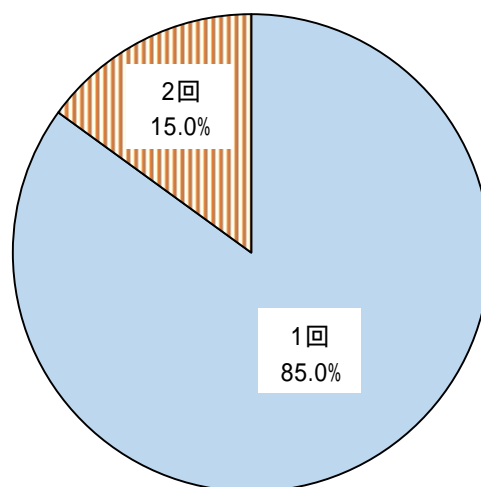
利用期間中に救急搬送されたことは、「あった」が14.9%、「なかった」が85.1%となっています。

救急搬送が「あった」と答えた方の搬送回数については、「1回」が85.0%、「2回」が15.0%となっています。



n= 147
(無回答 = 13)

【救急搬送の有無】



n= 20
(無回答 = 0)

【救急搬送の回数】

6 自由回答

(1) 支え手帳に関する意見や要望

問 17 支え手帳の形式や配布方法、使い勝手や改良してほしいことなどに関するご意見やご要望がありましたら、どんなことでも自由にご記入ください。

要旨の抜粋

手帳の大きさや重さについて

- ・もう少し小さくしてほしい
- ・気軽に持ち運べる大きさにしてほしい
- ・ファイルが重い

手帳や利用方法の周知

- ・病院やデイサービス等で知っている方が少なかった
- ・使い方やメリットがよくわからない
- ・配布時にもう少しわかりやすく説明して欲しい

記入を頼みづらい

- ・医師は多忙であり、記入を頼みづらい
- ・病院から「持ってきてください」と言ってもらえると利用しやすくなる

記入することが難しい

- ・字を読んだり書いたりすることが難しい
- ・内容が細かすぎるので、レイアウトの工夫をしてほしい

他の手帳・ファイルとまとめてほしい

- ・お薬手帳とリンクして1冊で色々と使えるようにしてほしい
- ・施設で利用している個人ファイルと統一されるとよい

連絡帳の枚数を増やして欲しい

- ・「みんなの連絡帳」の枚数が足りなくなってしまうので枚数を増やして欲しい

手帳の有益性について

- ・必要な資料を足せるのは便利である
- ・自分のことを振り返ることができた
- ・日々の出来事など、介護する側の苦勞が吐き出せてとても助かった
- ・検査結果や薬の説明書をバインダーに綴じることができ、有益である

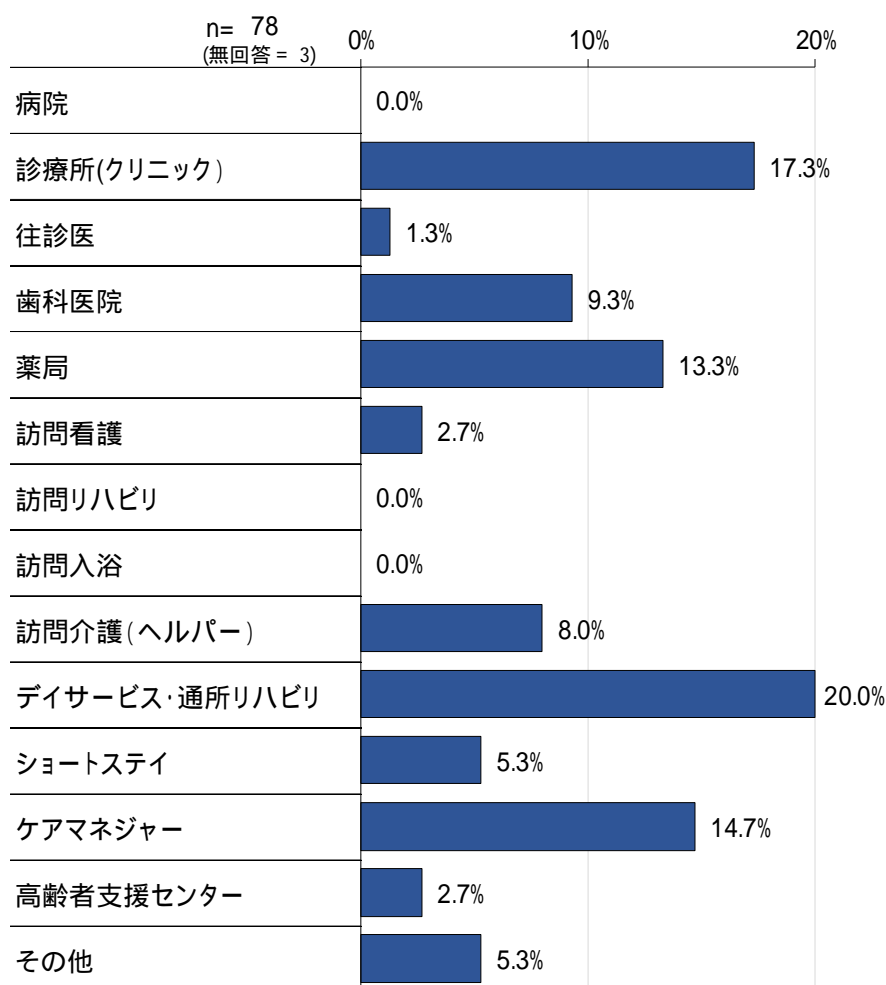
支え手帳関係機関アンケート

1 基本属性

(1) 事業サービスの種別

問1 あなたの事業所で行っているサービスに、一番近いものに 印をつけてください。(は1つだけ)

回答を得られた関係機関の事業種別で最も多かったのは「デイサービス・通所リハビリ」で20.0%、次いで「診療所(クリニック)」の17.3%、「ケアマネジャー」の14.7%と続いています。



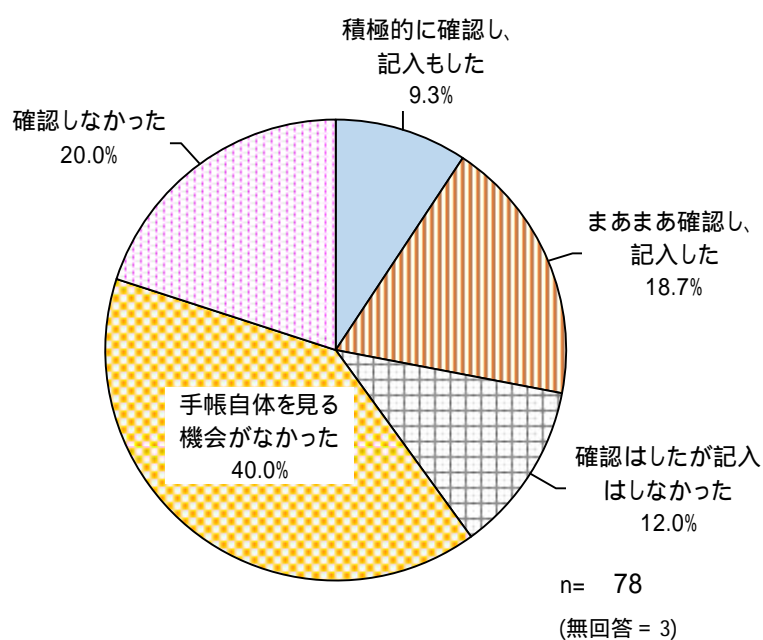
2 支え手帳の活用

(1) 支え手帳の活用頻度

問2 支え手帳を活用した頻度を教えてください。(は1つだけ)

手帳を活用した頻度について、「手帳自体を見る機会がなかった」が40.0%を占めており、「確認しなかった」の20.0%と合わせると60.0%が手帳を見ていないという結果になっています。

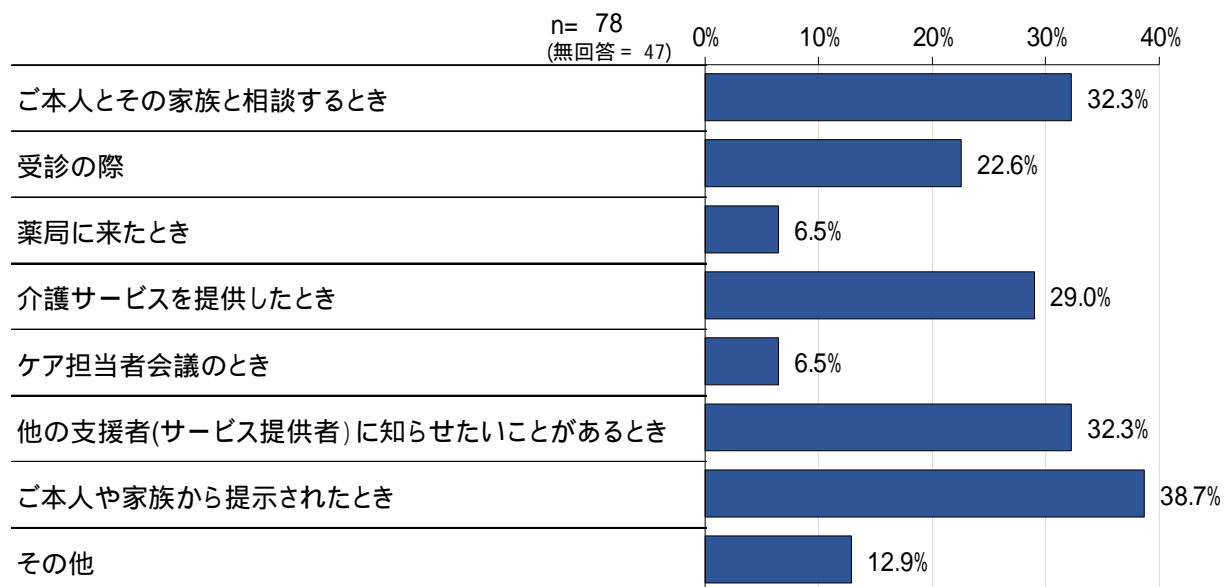
また、「まあまあ確認し、記入した」の18.7%、「積極的に確認し、記入もした」の9.3%を合わせると28.0%が手帳を確認し、記入をしています。



(2) 利用した場面

問3 支え手帳を利用したのは、どのような場面ですか。(はいくつでも)

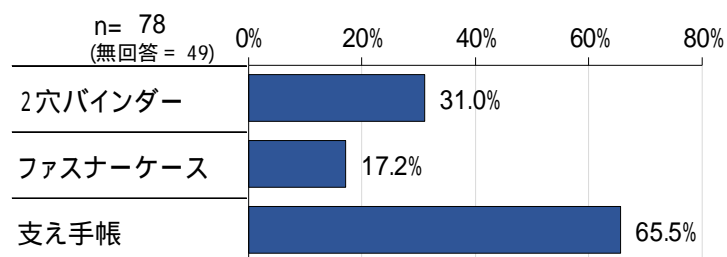
支え手帳を利用した場面について、「ご本人や家族から提示されたとき」が38.7%と最も多く、次いで「ご本人とその家族と相談するとき」、「他の支援者(サービス提供者)に知らせたいことがあるとき」が共に32.3%、「介護サービスを提供したとき」が29.0%と続いています。



(3) 利用した箇所

問4 よく利用したのは、ケースのどの部分ですか。(はいくつでも)

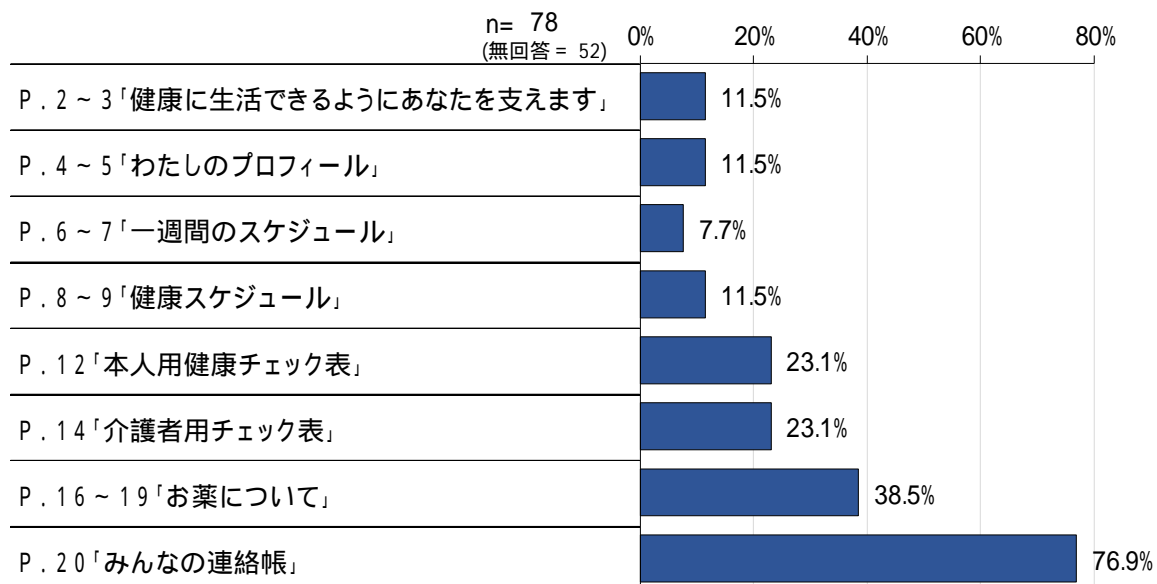
ケースのどの部分をよく利用したかについては、「支え手帳」が65.5%、「2穴バインダー」が31.0%、「ファスナーケース」が17.2%の順に続いています。



(4) 利用したページ

問5 支え手帳でよく見たり、記入したページはありますか。(はいいくつでも)

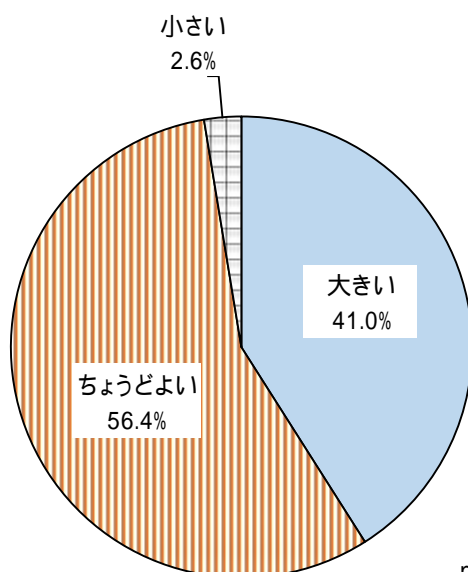
よく見たり記入したページについては、「みんなの連絡帳」が76.9%で最も多く、次いで「お薬について」が38.5%、「本人用健康チェック表」、「介護者用チェック表」が共に23.1%と続いています。



(5) 大きさ

問6 支え手帳の大きさはどうですか。(はい1つだけ)

手帳の大きさについては、「ちょうどよい」が56.4%、「大きい」が41.0%、「小さい」が2.8%となっています。

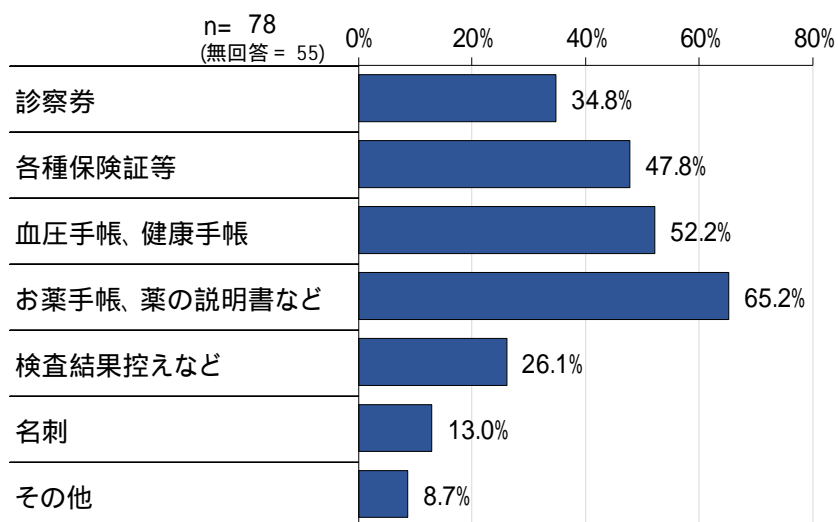


n= 78
(無回答 = 39)

(6) ケース内の有用な情報

問7 ファスナーケースに収納していたもので役立つ情報は何ですか。
(はいくつでも)

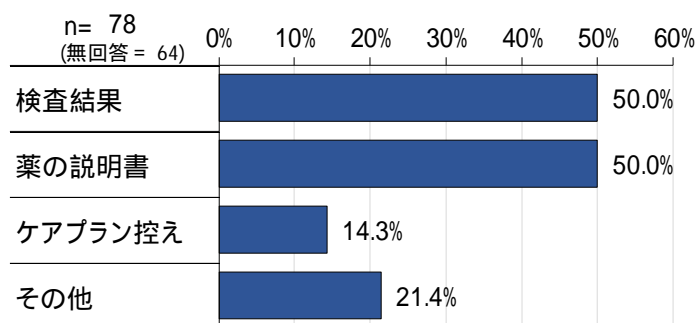
ファスナーケースに収納していたもので役立つ情報としては、「お薬手帳、薬の説明書など」が65.2%、次いで「血压手帳、健康手帳」が52.2%、「各種保険証等」が47.8%と続いています。



(7) 2穴バインダー内の有用な情報

問8 2穴バインダーに綴じてあった物で、有益な情報はありましたか。
(はいくつでも)

2穴バインダーに綴じてあった物で有益な情報としては、「検査結果」、「薬の説明書」が共に50.0%、「ケアプラン控え」が14.3%となっています。

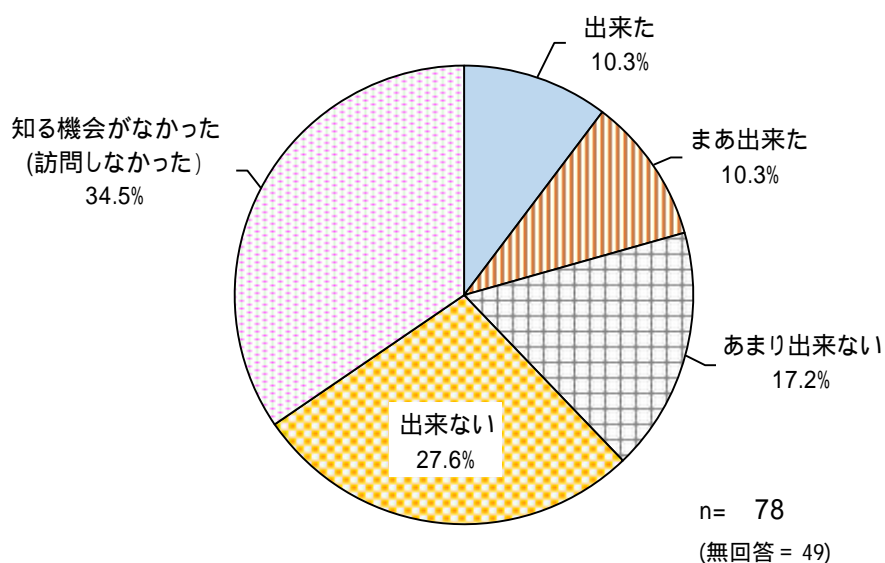


(8) マグネットの活用

問9 マグネットで、ケースの保管場所を知ることができましたか。

(は1つだけ)

マグネットでケースの保管場所を知ることができたかについて、「知る機会がなかった(訪問しなかった)」が34.5%と最も多く、続いて「出来ない」が27.6%、「あまり出来ない」が17.2%と続いています。



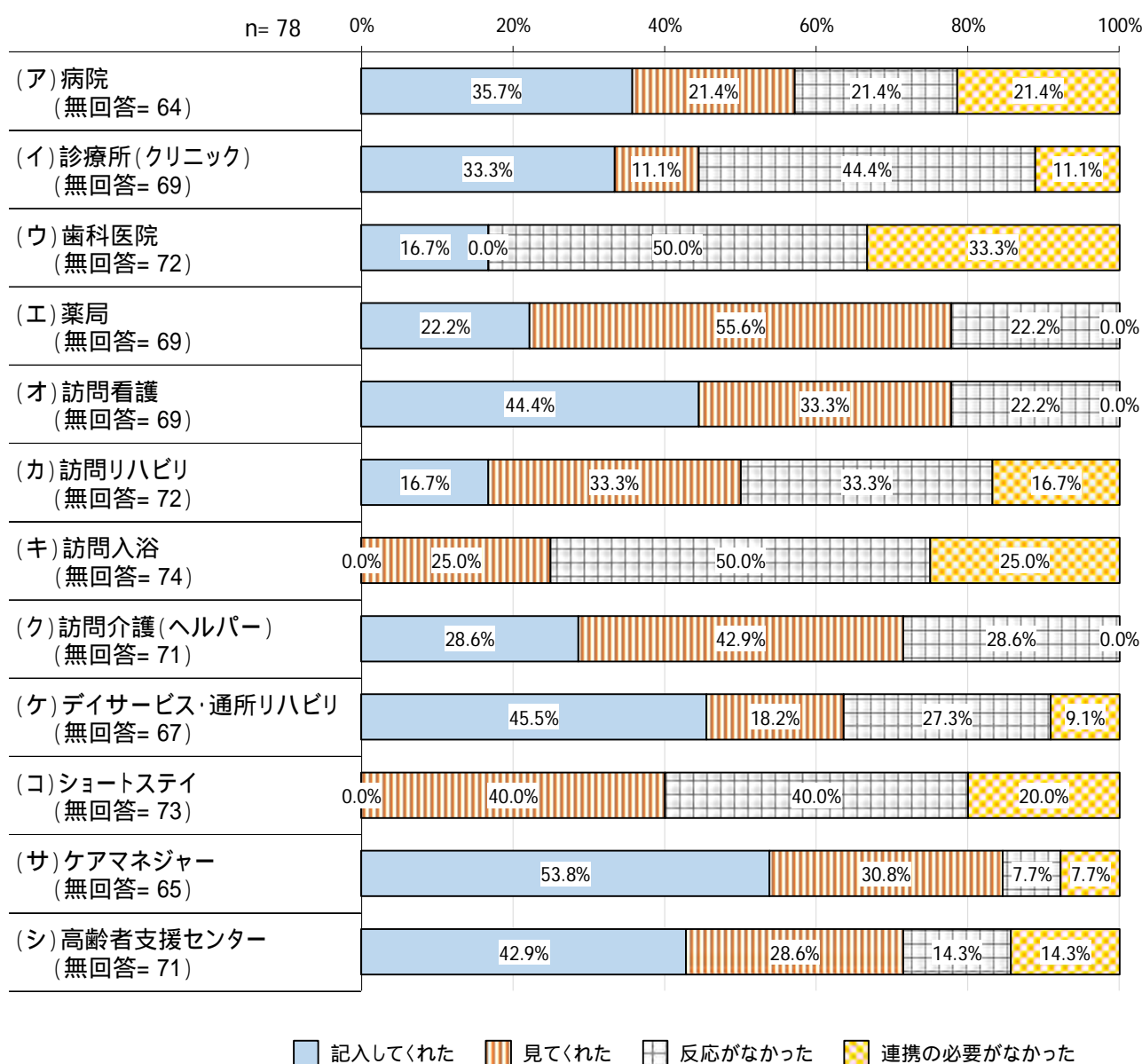
(9) 支え手帳の情報を伝えた先の反応

問10 「みんなの連絡帳」等で情報を伝えた相手先の反応を教えてください。
 (はそれぞれ1つだけ、該当がない場合は無記入)

情報を伝えた相手先の反応については、「記入してくれた」では、「ケアマネジャー」が53.8%と最も多く、次いで「訪問看護」が44.4%となっています。

「見てくれた」では、「薬局」が55.6%、「訪問介護(ヘルパー)」が42.9%の順となっています。

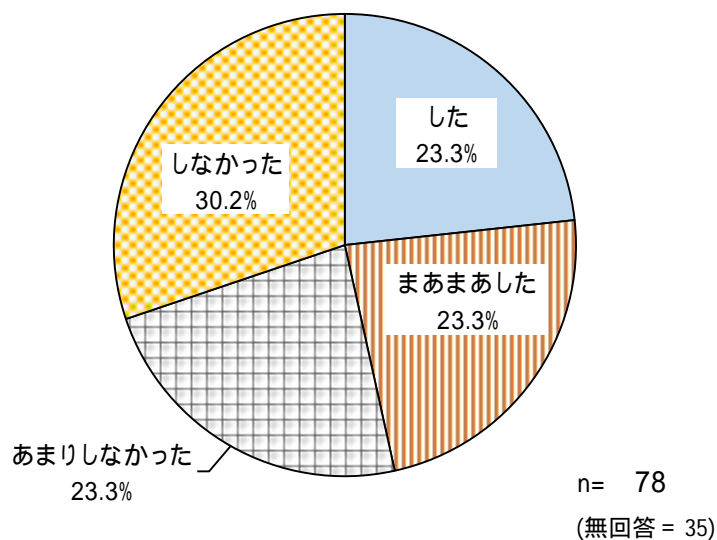
「反応がなかった」では「歯科医院」、「訪問入浴」が共に50.0%、「診療所(クリニック)」が44.4%の順となっています。



(10) 利用の呼びかけ

問 11 支え手帳を使うよう声かけをしましたか。(は1つだけ)

支え手帳を使うよう声かけをしたかについて、「しなかった」が30.2%と最も多く、次いで「まあまあした」、「あまりしなかった」が共に23.3%となっています。

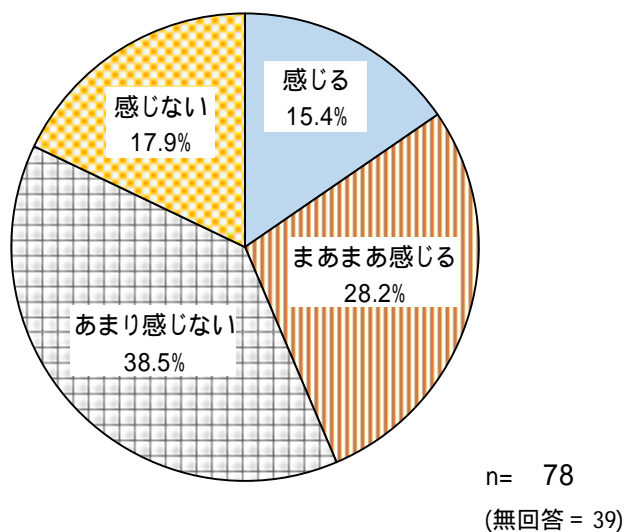


(11) 連携の助けになったか

問 12 支え手帳があることで、医療と介護の職員の連携の一助になったと感じましたか。(は1つだけ)

支え手帳が医療・介護両職員の連携の一助になったと感じたかについては、「あまり感じない」が38.5%と最も多く、続いて「まあまあ感じる」が28.2%、「感じない」が17.9%と続いています。

「感じる」と「まあまあ感じる」の合計は43.6%となっており、一方「感じない」と「あまり感じない」の合計は56.4%となっています。



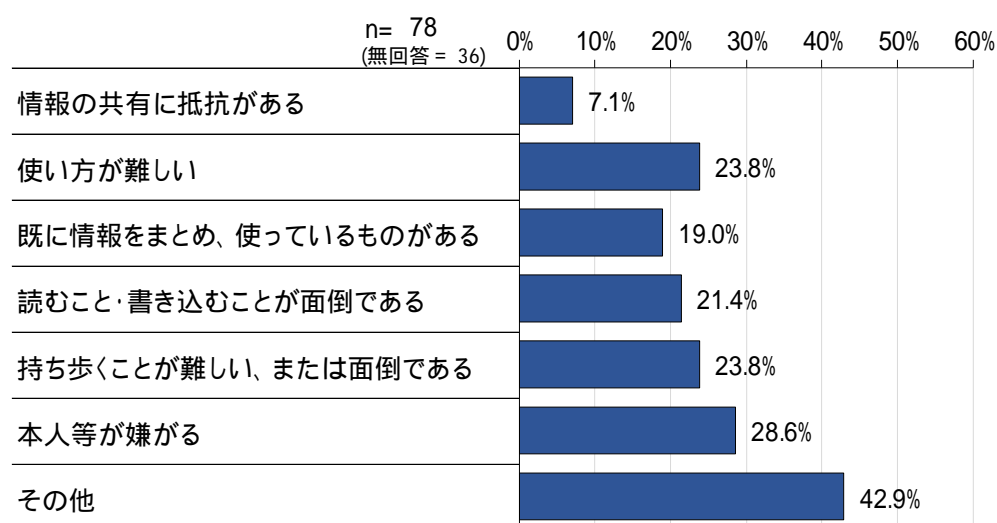
3 未利用の理由

(1) 未利用の理由

問 13 支え手帳を利用しなかった理由を教えてください。(はいくつでも)

支え手帳を利用しなかった理由は、「その他」が42.9%と最も多く、次いで「本人等が嫌がる」が28.6%、「使い方が難しい」、「持ち歩くことが難しい、または面倒である」が共に23.8%と続いています。

「その他」の自由記述としては、「持参された利用者がいなかった」、「手帳のことを知らなかった」、「手帳を読んだり記入したりする時間がない」といった意見がありました。

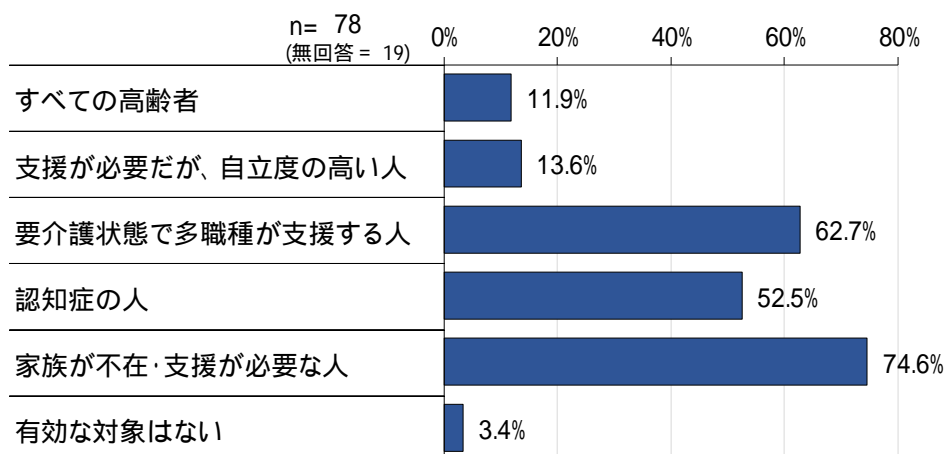


4 手帳が有用となる対象

(1) 手帳が有用となる対象

問 14 支え手帳はどのような状況の高齢者に有効だと思われますか。(はいいくつでも)

手帳がどのような状況の高齢者に有効と思うかについて、「家族が不在・支援が必要な人」が74.6%と最も多く、次いで「要介護状態で多職種が支援する人」が62.7%、「認知症の人」が52.5%と続いています。



5 自由回答

(1) 手帳に必要な情報やツールについて

問 15 支え手帳に必要な情報や、ツールについてお考えを聞かせてください。

要旨の抜粋

情報の一元管理について

- ・介護と医療の情報が一元化したものが必要である
- ・手帳にさまざまな機関で発行される書類を挟めるように、書類のサイズを統一するとよい
- ・既往歴や症状の経過、日常の状態などを関係機関とやりとりできる連絡帳がほしい

活用の促進について

- ・他職種間の連携や急変時対応に有効であり、活用を推進してほしい
- ・運用方法のアナウンスがほしい
- ・ケアマネージャーの担当者会議で連絡ノートとして活用してほしい

手帳の内容について

- ・それぞれに必要なもの、不要なものがあるのでカスタマイズできるとよい
- ・身体状態の情報や薬の情報は必要である
- ・医療機関との連携は必要ではあるが、もっと簡単に記入できるとよい

(2) 手帳についての意見・感想等について

問 16 支え手帳について形式や配布方法、使い勝手や改良して欲しいことなど、ご意見・感想等をお聞かせください。

要旨の抜粋

大きさや形状について

- ・大きく、重いこともあり、バッグに入れることが大変である
- ・持ち歩けるサイズ、重さにすることが重要である
- ・バインダーよりポーチにしたほうが、他の手帳を入れて持ってもらえるのではないかと

配布方法や制度について

- ・介護認定を受ける時などのサービス開始時に配布してはどうか
- ・ご本人とクリニックの交換日記のようになってしまったケースもあった
- ・市内の介護事業者への浸透が必要である
- ・お薬手帳と一緒にする等、今あるものを充実させたほうがよい

手帳の必要性について

- ・各自自己管理されており、必要ではないのでは
- ・各施設の連絡帳があるので、連絡帳と切り替えるのなら使えると思う
- ・医療機関との連携は必要ではあるが、もっと簡単に記入できるとよい
- ・個人情報が多く、記入に不安を感じる方が多かった

活用方法について

- ・手帳についての事前説明があるとよい
- ・現状変化のない方など、どのように使用したらよいかわからない
- ・毎日記入が必要なものであり、変わりのない日はチェックだけで済むようにしてはどうか

支え手帳利用拒否者調査

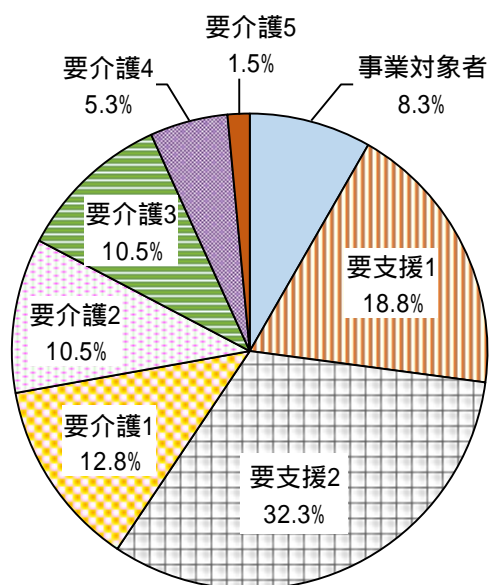
1 基本属性

(1) 介護認定の状況

問1 対象者の現在の介護認定度

支え手帳の利用を拒否した方の現在の介護認定度は、「要支援2」が32.3%と最も多く、次いで「要支援1」が18.8%、「要介護1」が12.8%と続いています。

要支援の方の合計は51.1%、要介護の方の合計は40.6%となっています。



n= 134

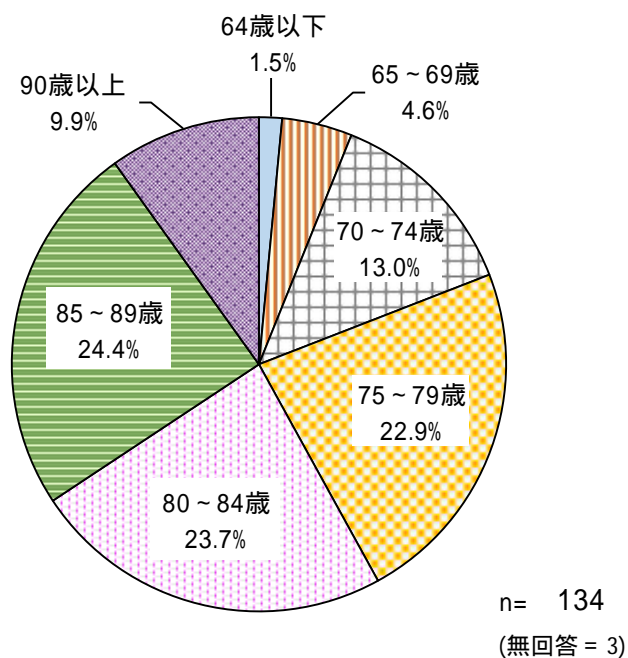
(無回答 = 1)

(2) 年齢

問2 - 対象者の年齢

支え手帳の利用を拒否した人の年齢は、「85～89歳」が24.4%と最も多く、次いで「80～84歳」が23.7%、「75～79歳」が22.9%と続いています。

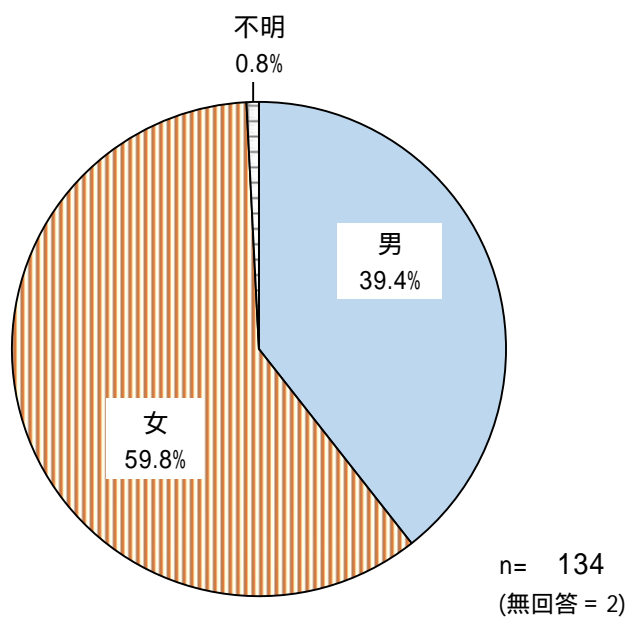
74歳以下の方の合計は19.1%、75歳以上の方の合計は80.9%となっています。



(3) 性別

問2 - 対象者の性別

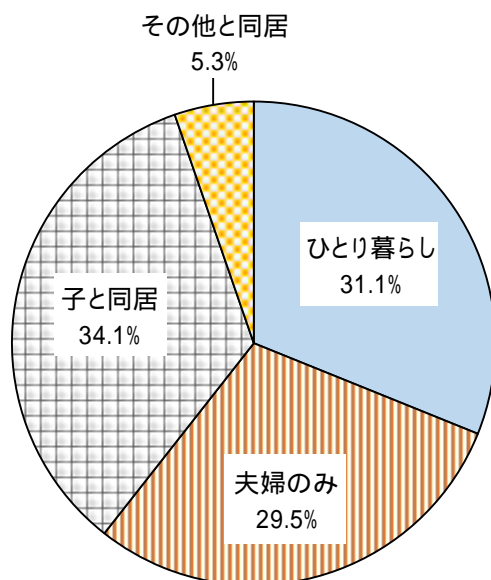
支え手帳の利用を拒否した人の性別は、「男性」が39.4%、「女性」が59.8%となっています。



(4) 家族構成

問3 対象者の家族構成

支え手帳の利用を拒否した人の家族構成は、「子と同居」が34.1%、「ひとり暮らし」が31.1%、「夫婦のみ」が29.5%となっています。



n = 134
(無回答 = 2)

2 配付に至らなかった理由

(1) 未配付の理由

問4 配付に至らなかった主な理由(複数回答可)

配付に至らなかった主な理由として、「読むこと・書き込むことが難しい、または面倒である」が55.2%と最も多く、次いで「その他」が31.3%、「持ち歩くことが難しい、または面倒である」が29.9%と続いています。

その他の自由意見としては、「今はまだ必要ではない」、「記入を頼みづらい」といった意見がありました。

